

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」草津駅前校第2		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様お一人お一人に合わせた療育内容の提供ができています。	・環境設定、療育内容等、担当指導員を中心にご利用者様に合わせた内容を考え、提供することを心がけられている。 ・療育のツールの充実。適宜、手作り教材用いながらご利用者様に合わせたツールを提供している。	・継続して担当指導員を中心としながら、校舎全体での共有、検討を行っていく。
2	SNS(Instagram、ブログ)の有効活用ができています。	・療育の様子に加え、職員の紹介や教室内部の紹介を行っている。 ・コンスタントなSNS掲載を行っている。 ・ブログを通し、空きコマ情報を共有することで、いつでも校舎の空きコマ情報を入手できる環境を作っている。	・毎月開催している避難訓練の記事を掲載することで、ご利用者様への周知を行っていく。 ・療育時間(1時間)の流れが分かるものを掲載し、「きらり」での過ごし方のイメージが持ちやすくする。
3	他機関との横のつながりがある。	・相談支援事業所への定期的な報告を実施している。 ・ご利用者様のご希望に合わせ、園や学校への連携を行っている。 ・行政との関わりを積極的に行い、制度面での案内ができるよう準備をしている。	・継続した他機関との関わりを積極的に行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援室、面談の場における環境面 ・パーティションで区切らため、周囲の物音が聞こえやすい。 ・面談時の話声が聞こえてしまう。	・パーティションを利用した個々に合わせた環境設定ができてはいるが、同時に周囲の物が聞こえやすい環境伴っている。 ・面談室以外の場所でも面談等を行う事がある。	・療育においては、席の配置等、可能な範囲で集中しやすい環境づくりを工夫する。 ・保護者様とお話しをする際は、個室を利用する。また、療育後のFBの際は、他者との距離を話す等の可能な限りでの環境設定を行う。
2	小集団療育の機会が少ない。 ペアレントトレーニングの機会が少ない。	・枠が個別療育で埋まっており、限られた日程中での調整となってしまう。	・長期休暇等、小集団療育の場を設けていく。その中で保護者様向けの勉強会なども設定していく。 ・ペア学習を積極的に行っていく。
3	教室が2階にあり、階段を使う必要がある。 車椅子等の利用が難しい。	・ビル内に入っていることから、階段以外の設備は難しさがある。	・ご利用者様スリッパの見直し。 ・見学、体験時に校舎設備を説明し、ご理解していただいた上でのご案内とする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」草津駅前校第2

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

18名

回収数

12

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	0	・2階にあるため、車いすや足を怪我した時等は、利用できないと思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0	・いつ行ってもキレイですごい。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	0	0	・子どもが興味を持っていることを、その時々で取り入れてくださっているのが有難い。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	0	2	7	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0	・どの説明もいつも丁寧。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	5	4	・平日午前などの時間にペアトレや勉強会があれば参加してみたい。	・外部向けイベント(ふれあいスペース)等の中で、保護者様向けの時間も設け、勉強会等を計画していきたいと考えています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0	・子どもの状態をいつも気にかけてくださっていて、お話を聞いてもらえるので共通理解ばっちり。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	1	・子どもの気持ち、親の気持ちをしっかりとくみ取りながら支援していただいている。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	6	2	・きょうだいでイベント参加させてもらえて、有難い。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	1	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2	0	1	・インスタで訓練の様子をアップされているのを見て安心している。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0	・毎回楽しみにしています。「今日は何するのかな♪」と期待がすごい。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」草津駅前校第2		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・パーテーションで仕切り、適切な広さの空間を作っている。 ・保護者様見学のスペースを作っている。 また、分離の場合は待機場所を提供している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3		・教室が2階にあり、階段しかない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・掃除の時間を設定し、全職員で掃除をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・支援室（個室）を使用していない時は、ドアを開け、適宜使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・職員で協力し合いながら準備をしている。 ・複数担当制にしているため、細かい打ち合わせを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・朝のミーティングだけでなく、日々のコミュニケーションを意識できている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・社内研修だけでなく、外部（草津市開催の研修等）にも参加できている。また、参加できない場合も校舎全体で共有の場を設けている。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	・SNS（主にインスタグラム）を通じ、支援内容を紹介している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	・担当指導員が主で立案を行っているが、適宜相談等、校舎全体で行うことができている。 ・複数担当制の場合は、より積極的にできている。 ・特にイベント、小集団療育、体験時は、複数の指導員で立案を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	・ペア学習や小集団療育等を適宜行っている。	・集団療育の日程的に参加者が限定されてしまっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・記録に残しつつ、必要に応じて行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	・その日中にできないこともあるが、適宜行っている。 ・特にイベントの時は、打ち合わせと振り返りを行っている。 ・複数担当者で共有もしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・ご利用者様の情緒に合わせた臨機応変な対応ができています。 ・支援の順番や1つ1つの区切りをご利用者様自身が決められるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・基本的に担当指導員と管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・ご利用者様、保護者様のご要望により、対応可能としている。	・現在、対象となるご利用者様がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	・相談支援事業所へ定期的に事業所報告書を提出している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・療育後に行うフィードバックの時間を通し、学校や自宅での様子を伺っている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・イベントや小集団療育の際に、保護者様対象の勉強会や共有会を行っている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・必要やご希望に応じて別日や長時間お話しできる環境づくりを行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	2	・小集団療育の際に、保護者様同士の交流の場を設ける等、時間と場所の提供をしている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・Instagram（週3回以上）、ブログ（月2回以上）を活用している。 ・見学やイベント申し込みをWEB上でできるようにしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	・地域の方向けイベント（ふれあいスペース）を毎月開催している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・食べ物のお提供は基本的にしていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・研修への参加と報告会を実施している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		